

第13回 市長と語るタウンミーティング実施報告書

担当部	生活環境部（ごみ減量課）
テーマ	国立市の循環型社会の実現に向けて ～ごみ対策について～
日時	令和5年8月5日（土） 午前10時～午前11時30分
場所	国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ オープンスペース
出席者	永見市長、黒澤生活環境部長、清水ごみ減量課長、吉村ごみ減量課課長補佐、大倉環境センター所長、谷村ごみ減量課清掃係主任
参加者数	17名
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ● コンポストを利用しているグループがあります。生ごみ処理についてこちらとディスカッションをしてほしい。 ● 生ごみを畑などで分解されると生ごみが減ってよい。このような施設が近くにできるとよい。 ● 人権の問題からごみのことについて小学校にいったり講義している。今後も行政と繋がりながらこのことについて話していきたい。 ● マイクロプラスチックについて、映画をこどもといっしょにみた。とてもよい映画だった。映画だけでなく、より肌を感じるができるよう環境センターとかごみ処理施設の見学会をもっとやってほしい。 ● 市長が先ほど話をした迷惑施設の認否の問題ですが、いかに自分的なものとして啓発していくのかということをお話しましたが、具体的に聞きたいです。 ● 賢く、必要なものだけを買うことで、食品ロスを減らすことができますが、高齢者で記憶があいまいになっている人は注文したことも忘れてしまっている。どうやって防げばよいのでしょうか？ ● こどもが拾ってきたごみをどうやって出せばよいのか ● 独居老人はごみを出すのが大変になっている。ごみ収集員が高齢者の家に出向き、安否確認をしている。こちらは23区ではみんなやっています。これは清掃に対する重要性が確認できるのでとても意味がある。 ● ごみの流れを知ってもらうことで、自分のこととして理解してもらえんと思います。みんなで考えられるようにしてほしい。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後、高齢者社会になるなかで、高齢者のごみの出し方や収集の仕方について考える必要がある。 ● （生ごみ削減の話聞いて）生ごみ処理施設が市内にできるとよい。 ● 施設の見学会を増やしてほしい。市民も気軽に参加できるとうれしい。

